

問題用紙は、試験監督員からの開始の指示があるまで一切開かないでください。

## 令和 3 年度

第 一 種 販 売

法令試験問題

JX

試験時間 9 : 30 ~ 10 : 30

### 注 意 事 項

- (1) 配布された問題用紙の種類（左上に黒地白文字で示しています。）が受験する試験の種類に間違いがないか、また、問題用紙と受験番号札の色が合致しているかどうか、必ず確認してください。  
万一、異なる場合は、速やかに試験監督員に申し出てください。
- (2) 答案用紙に記入されている受験番号、氏名等を確認し、間違いがあれば「受験者住所等修正票」を請求し、正しい内容を記入して試験監督員に提出してください。
- (3) この試験は電子計算機で採点しますので、答案用紙に記入する際には、記入方法を間違えないように特に注意してください。  
電子計算機は、黒く塗りつぶした ● の部分を読みとります。
- (4) 試験問題の解答は多肢選択式です。解答は、各問題の下に掲げてある(1)~(5)の中から、**最も適切なものを1問につき1個だけ選んでください**。1問につき2個以上選択した場合には、その問題については0点になります。
- (5) 解答は、次の例にならって、答案用紙の所定の欄にマークしてください。  
「記入例」  
問 次のうち正しいものはどれか。  
(1) A (2) B (3) C (4) D (5) E  
(3)を選択する場合には、  

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	○	●	○	○

のように、○の枠いっぱいに、はみ出さないようにHB又はB鉛筆で黒く塗りつぶしてください。
- (6) 試験問題に関する質問にはお答えできません。
- (7) 「問題用紙」及び「答案用紙」は、試験監督員の指示に従い必ず提出してください。

一販(法)JX

次の各問について、高圧ガス保安法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えをその問の下に掲げてある(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の選択肢の中から1個選びなさい。

なお、経済産業大臣が危険のおそれのないと認めした場合等における規定は適用しない。

(注) 試験問題中、「都道府県知事等」とは、都道府県知事又は高圧ガス保安法に関する事務を処理する指定都市の長をいう。

---

問1 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

イ. 内容積が1デシリットル以下の容器に充填された高圧ガスは、いかなる場合であっても、高圧ガス保安法の適用を受けない。

ロ. 販売所（特に定められたものを除く。）においては、何人も、その販売業者が指定する場所で火気を取り扱ってはならない。

ハ. 販売業者が第二種貯蔵所を設置して、容積300立方メートル（液化ガスにあつては質量3000キログラム）以上の高圧ガスを貯蔵したときは、遅滞なく、その旨を都道府県知事等に届け出なければならない。

(1) ロ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問2 次のイ、ロ、ハのうち、一般高圧ガス保安規則に定める第一種保安物件であるものはどれか。

ただし、事業所の存する敷地と同一敷地内にないものとし、他の施設は併設されていないものとする。

イ. 医療法に定める病院

ロ. 収容定員300人以上である劇場

ハ. 学校教育法に定める大学

(1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問3 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

イ. 温度35度以下で圧力が0.2メガパスカルとなる液化ガスは、高圧ガスである。

ロ. 高圧ガス保安法は、高圧ガスによる災害を防止して公共の安全を確保する目的のため、高圧ガスの製造、貯蔵、販売及び移動を規制することのみを定めている。

ハ. 販売業者が高圧ガスを容器により授受した場合、その高圧ガスの引渡し先の保安状況を明記した台帳の保存期間は、記載の日から2年間と定められている。

(1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問4 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 圧縮ガス（圧縮アセチレンガスを除く。）であって、温度 35 度において圧力が 1 メガパスカルとなるものであっても、現在の圧力が 0.9 メガパスカルであるものは、高圧ガスではない。
- ロ. 容器に充填された高圧ガスの輸入をした者は、輸入をした高圧ガス及びその容器について指定輸入検査機関が行う輸入検査を受け、これらが輸入検査技術基準に適合していると認められ、その旨を都道府県知事等に届け出た場合は、都道府県知事等が行う輸入検査を受けることなく、その高圧ガスを移動することができる。
- ハ. 高圧ガスの販売の事業を営もうとする者は、特に定められた場合を除き、販売所ごとに、事業開始の日の 20 日前までに、その旨を都道府県知事等に届け出なければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問5 次のイ、ロ、ハの高圧ガスを消費する者のうち、特定高圧ガス消費者に該当する者はどれか。

- イ. モノシランを消費する者
- ロ. 容積 300 立方メートルの圧縮酸素を貯蔵し、消費する者
- ハ. 質量 3000 キログラムの液化天然ガスを貯蔵し、消費する者

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問6 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスを充填するための容器（再充填禁止容器を除く。）及びその附属品について正しいものはどれか。

- イ. 容器に高圧ガスを充填することができる条件の一つに、その容器が容器検査に合格し、所定の刻印等がされた後、所定の期間を経過していないことがある。
- ロ. 容器の製造をした者は、その容器に自主検査刻印等をしたもの又はその容器が所定の容器検査を受け、これに合格し所定の刻印等がされているものでなければ、特に定められたものを除き、その容器を譲渡してはならない。
- ハ. 容器の廃棄をする者は、その容器をくず化し、その他容器として使用することができないように処分しなければならないが、容器の附属品の廃棄をする者については、同様の定めはない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問7** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスを充填するための容器（再充填禁止容器を除く。）及びその附属品について容器保安規則上正しいものはどれか。

イ．可燃性ガスを充填する容器には、その充填すべき高圧ガスの名称が刻印等で示されているので、そのガスの名称を明示する必要はなく、その高圧ガスの性質を示す文字を明示することと定められている。

ロ．溶接容器、超低温容器及びろう付け容器の容器再検査の期間は、容器の製造後の経過年数にかかわらず、5年である。

ハ．附属品には、特に定める場合を除き、その附属品が装置される容器の種類ごとに定められた刻印がされている。

- (1) ロ (2) ハ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問8** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高圧ガス消費者に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．消費設備に使用する材料は、ガスの種類、性状、温度、圧力等に応じ、その設備の材料に及ぼす化学的影響及び物理的影響に対し、安全な化学的成分、機械的性質を有するものでなければならない。

ロ．特殊高圧ガスの消費施設は、その貯蔵設備の貯蔵能力が3000キログラム未満の場合であっても、その貯蔵設備及び減圧設備の外面から第一種保安物件に対し第一種設備距離以上、第二種保安物件に対し第二種設備距離以上の距離を有しなければならない。

ハ．特殊高圧ガス、液化アンモニア又は液化塩素の消費設備に係る配管、管継手及びバルブの接合は、特に定める場合を除き、溶接により行わなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問9** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高圧ガス消費者が消費する特定高圧ガス以外の高圧ガスの消費に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．技術上の基準に従うべき高圧ガスは、可燃性ガス、毒性ガス及び酸素の3種類に限られている。

ロ．可燃性ガス、酸素及び三フッ化窒素の消費施設（在宅酸素療法用のもの及び家庭用設備に係るものを除く。）には、その規模に応じて、適切な消火設備を適切な箇所に設けなければならない。

ハ．可燃性ガス又は酸素の消費に使用する設備（家庭用設備を除く。）から5メートル以内においては、特に定める措置を講じた場合を除き、喫煙及び火気（その設備内のものを除く。）の使用を禁じ、かつ、引火性又は発火性の物を置いてはならないが、三フッ化窒素の消費に使用する設備についてはその定めはない。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問10** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高圧ガス消費者が消費する特定高圧ガス以外の高圧ガスの消費に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 溶接又は熱切断用のアセチレンガスの消費は、アセチレンガスの逆火、漏えい、爆発等による災害を防止するための措置を講じて行わなければならないが、溶接又は熱切断用の天然ガスの消費については、漏えい、爆発等による災害を防止するための措置を講じて行わなければならない旨の定めはない。

ロ. 一般複合容器は、水中で使用してはならない。

ハ. 酸素の消費は、消費設備の使用開始時及び使用終了時に消費施設の異常の有無を点検するほか、1日に1回以上消費設備の作動状況について点検し、異常があるときは、その設備の補修その他の危険を防止する措置を講じて消費しなければならない。

- (1) ロ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問11** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスの販売業者が容積0.15立方メートルを超える高圧ガスを容器（高圧ガスを燃料として使用する車両に固定した燃料装置用容器を除く。）により貯蔵する場合の技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 窒素の容器のみを容器置場に置くときは、充填容器及び残ガス容器にそれぞれ区分して置くべき定めはない。

ロ. 圧縮酸素の充填容器については、その温度を常に40度以下に保つべき定めがあるが、その残ガス容器についてはその定めはない。

ハ. 充填容器及び残ガス容器であって、それぞれ内容積が5リットルを超えるものには、転落、転倒等による衝撃及びバルブの損傷を防止する措置を講じ、かつ、粗暴な取扱いをしてはならない。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ハ (5) ロ、ハ

**問12** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスの販売業者が容積0.15立方メートルを超える高圧ガスを容器（高圧ガスを燃料として使用する車両に固定した燃料装置用容器を除く。）により貯蔵する場合の技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 毒性ガスであって可燃性ガスではない高圧ガスの充填容器及び残ガス容器は、漏えいしたとき拡散しないように、通風の良い場所で貯蔵してはならない。

ロ. シアン化水素を貯蔵するときは、充填容器及び残ガス容器について1日1回以上シアン化水素の漏えいのないことを確認しなければならない。

ハ. 車両に積載した容器により高圧ガスを貯蔵することは、特に定められた場合を除き、禁じられている。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ハ (5) ロ、ハ



**問13** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、容器（配管により接続されていないものに限る。）により高圧ガスを貯蔵する第二種貯蔵所に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．可燃性ガス及び酸素の容器置場は、特に定められた場合を除き、1階建としなければならない。

ロ．アンモニアの容器置場は、そのガスが漏えいしたとき滞留しないような構造としなければならない。

ハ．容器置場において、その規模に応じ、適切な消火設備を適切な箇所に設けなければならないと定められている高圧ガスは、可燃性ガス及び酸素に限られている。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問14** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、車両に固定した容器（高圧ガスを燃料として使用する車両に固定した燃料装置用容器を除く。）による高圧ガスの移動に係る技術上の基準等について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．液化酸素を移動するときは、消火設備も携行しなければならない。

ロ．液化アンモニアの移動を終了したときは、漏えい等の異常の有無を点検しなければならないが、液化窒素の移動を終了したときは、その必要はない。

ハ．定められた運転時間を超えて移動する場合、その車両1台につき運転者2人を充てなければならないと定められている高圧ガスは、特殊高圧ガスのみである。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問15** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、車両に積載した容器（内容積が47リットルのもの）による高圧ガスの移動に係る技術上の基準等について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．販売業者が販売のための二酸化炭素を移動するときは、その車両に警戒標を掲げる必要はない。

ロ．塩素の充填容器とアンモニアの充填容器とを同一の車両に積載して移動してはならない。

ハ．特殊高圧ガスを移動するときは、あらかじめ、そのガスの移動中、充填容器又は残ガス容器に係る事故が発生した場合における荷送人へ確実に連絡するための措置を講じて行わなければならない。

- (1) イ (2) ハ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問16** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスの廃棄に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 技術上の基準に従うべき高圧ガスは、可燃性ガス、毒性ガス及び特定不活性ガスに限られている。

ロ. 高圧ガスを継続かつ反復して廃棄するとき、ガスの滞留を検知する措置を講じなければならない高圧ガスは、可燃性ガス、毒性ガス及び特定不活性ガスに限られている。

ハ. 三フッ化窒素を廃棄するときは、バルブ及び廃棄に使用する器具の石油類、油脂類その他の可燃性の物を除去した後に廃棄しなければならない。

- (1) ハ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問17** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスの販売の方法に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 販売業者は、圧縮天然ガスを燃料の用に供する一般消費者に圧縮天然ガスを販売するとき、配管の気密試験のための設備を備えなければならない。

ロ. 販売業者は、他の高圧ガスの販売業者にヘリウムを販売する場合、その引渡し先の保安状況を明記した台帳を備える必要はない。

ハ. 圧縮天然ガスの充填容器の引渡しは、容器再検査の期間を6か月以上経過していないものであり、かつ、その旨を明示したものでなければならないが、残ガス容器の引渡しの場合はこの限りでない。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問18** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスの販売業者について正しいものはどれか。

イ. 販売業者は、水素及び酸素の高圧ガスを販売している販売所において、新たに販売する高圧ガスとしてメタンを追加したときは、遅滞なく、その旨を都道府県知事等に届け出なければならない。

ロ. 販売業者は、アセチレンの販売所の販売主任者に、乙種機械責任者免状の交付を受け、かつ、アンモニアの製造に関する1年の経験を有する者を選任することができる。

ハ. 販売業者が販売所に販売主任者を選任しなければならないと定められている高圧ガスの一つに、窒素がある。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問19** 次のイ、ロ、ハのうち、高圧ガスの販売業者が販売する高圧ガスを購入して溶接又は熱切断の用途に消費する者に対し、所定の方法により、その高圧ガスによる災害の発生の防止に関し必要な所定の事項を周知させなければならない場合、その対象となる高圧ガスとして一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. アセチレン

ロ. エチレン

ハ. 天然ガス

- (1) イ    (2) イ、ロ    (3) イ、ハ    (4) ロ、ハ    (5) イ、ロ、ハ

**問20** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスの販売業者が販売する高圧ガスを購入して消費する者に対し、所定の方法により、その高圧ガスによる災害の発生の防止に関し必要な所定の事項を周知させなければならない場合、その周知について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. その周知させるべき時期は、その高圧ガスの販売契約の締結時のみである。

ロ. 「消費設備の操作、管理及び点検に関し注意すべき基本的な事項」は、その周知させるべき事項の一つである。

ハ. 「消費設備の変更に関し注意すべき基本的な事項」は、その周知させるべき事項の一つである。

- (1) イ    (2) ロ    (3) イ、ハ    (4) ロ、ハ    (5) イ、ロ、ハ